

知床財団だより

2026年1月号
No.108



知床財団は、知床の自然を「知り・守り・伝える」ために斜里町と羅臼町が設立した財団です。
野生動物対策や調査研究、森づくり、環境教育活動等を行なっています。

身近な自然を知ろう

知床の魅力の一つ - 流氷の存在 -

知床半島は、北半球で流氷を見る能够である最南端の地です。流氷は、知床から約1,000キロ離れたサハリン付近で形成され、北風に乗って南下し、オホーツク海へとやって来ます。

流氷は春になると融け、その過程で海に多くの栄養分をもたらすといわれています。これらは知床の生態系を支える重要な基盤となり、知床が世界自然遺産に登録された理由の一つにもなっています。また、流氷は観光資源としても大きな役割を果たしており、知床の重要な資源です。



1月に入ると、私たちスタッフは毎日、流氷を確認するのが日課になります。昨年の「流氷初日」は2月18日でした。ここでいう「流氷初日」とは、視界外の海域から漂流してきた流氷が、視界内の海面に初めて姿を現した日を指します。知床自然センターでは、1996年からウトロにあるブヨニ岬で流氷の定点観察を行っています。観察は流氷初日から流氷が去るまでの期間実施するため、「流氷初日」を見逃さないよう、日々欠かさずチェックする必要があるのです。

自動撮影カメラで撮影された写真は、スタッフが毎日確認し、知床自然センター館内に展示しています。知床自然センターへお越しの際は、ぜひ展示もあわせてご覧ください！

流氷定点観測には自動撮影カメラを使用しています。遠隔で画像を送ることができるために、リアルタイムで流氷の様子を確認することができます。

	流氷初日	流氷接岸初日	流氷終日
2021	1月20日	1月23日	3月29日
2022	1月29日	1月30日	3月26日
2023	1月27日	2月2日	3月11日
2024	1月21日	1月29日	4月6日
2025	2月18日	2月19日	3月25日

▲過去5年間の流氷観測データ

オーロラ DANCE 上映イベントを開催します！

オーロラメッセンジャーとして活動されている中垣哲也氏を迎えて、イベントを開催します。北海道最大級のスクリーンを活かしたダイナミックな映像をぜひ体感しに来てください。

- 日時：2026年1月31日（土）14:00～（予定）
- 場所：知床自然センター内 MEGAスクリーン KINETOKO
- 料金：無料

※イベントのため通常の上映は休止となります。ご注意ください。

知床自然センター MEGAスクリーン
KINETOKO
SUSTAINABLE NATIONAL PARK NATURE CENTER MEGA SCREEN



▲中垣氏 公式 HP



▲イベント詳細

斜里のまちで見つけた「発見」を紹介！

まち発見レポート



高校生模擬議会が行われました！

11月25日㈫、斜里高等学校3年次の生徒6名による「高校生模擬議会」が役場議場で行われました。「知床学」の授業の一環として、生徒に議会を体験させたいという想いから始まったこの取り組み。高校生たちが1日限りの議員として出席し、町長へ一般質問を行いました。答弁に対する再質問の場面では鋭い質問もあり、活発な議論の場となりました。町の政策を動かす体験ができる貴重な機会。緊張しながらも、「町をより良くするためにどうしたら良いか」を真剣に考える高校生の姿がありました。

園児が飾り付けたクリスマスバスが運行

12月1日㈪、市街地巡回バス「しゃりぐる」で「クリスマスバス」を運行することに伴い、はまなす保育園の子どもたちによって車内とバスターミナルの飾り付けが行われました。園児たちは、オーナメントを思い思いに飾り付けて満足そうな様子。ターミナル内には「北海道だいすき発見隊」のポケモン、アローラロコン・ロコンの装飾がされ利用者の目を楽しませました。「クリスマスバス」は12月2日㈫～25日㈬の期間限定で運行され、町に楽しいクリスマスの雰囲気を届けました。



消防用水等の確保に関する協定を締結

12月2日㈫、北見地方コンクリート協同組合と「災害における消防用水等の確保に関する協定書」を取り交わしました。この協定書は、大規模な火災や地震などの災害が発生したとき、斜里地区消防組合から北見地方生コンクリート協同組合に、消防用水の確保の協力を依頼するものです。この協定により、災害が起きた際、迅速に消防用水を確保できるようになります。今後も協力体制を強化しつつ、災害に対する備えをさらに充実させてまいります。



北見地方コンクリート協同組合理事長 吉野 篤氏（左）

皆さんのまち発見を募集しています！ 政策推進課 魅力創造係 ☎ 0152-26-7708まで